

平成 1 7 年度

組織・人員配置等
事業概要

三重県科学技術振興センター

水産研究部

事 務 分 掌 表

水産研究部
現在員 48名

部長 西村守央
参事 池山洋久

企 画 調 整 グ ル ー プ	10名
-----------------	-----

副参事 (GL)	出口勝信
主幹	岩城久仁雄
主幹	神谷直明
主査	岡野清和
主幹兼機関長	岡本楠清
船長	松尾剛平

- 1 職員の身分取り扱いに関する事
- 2 予算, 庶務経理及び決算に関する事
- 3 財産の管理に関する事
- 4 調査研究に係る企画連絡調整に関する事
- 5 調査船の運営及び維持管理に関する事
- 6 その他のグループに所属しない事

水 産 資 源 育 成 グ ル ー プ	6名
---------------------	----

総括研究員 (GL)	林 政博
主幹研究員	古野 優
主任研究員	松田浩一
主任研究員	青木秀夫

- 1 種苗生産技術の開発に係る調査研究に関する事
- 2 育種技術の開発に係る調査研究に関する事
- 3 魚類防疫対策に係る調査研究並びに指導に関する事
- 4 資源管理型魚類 (定着性資源) に係る調査研究に関する事
- 5 産地市場自主衛生管理に関する事

資 源 開 発 管 理 グ ル ー プ	4名
---------------------	----

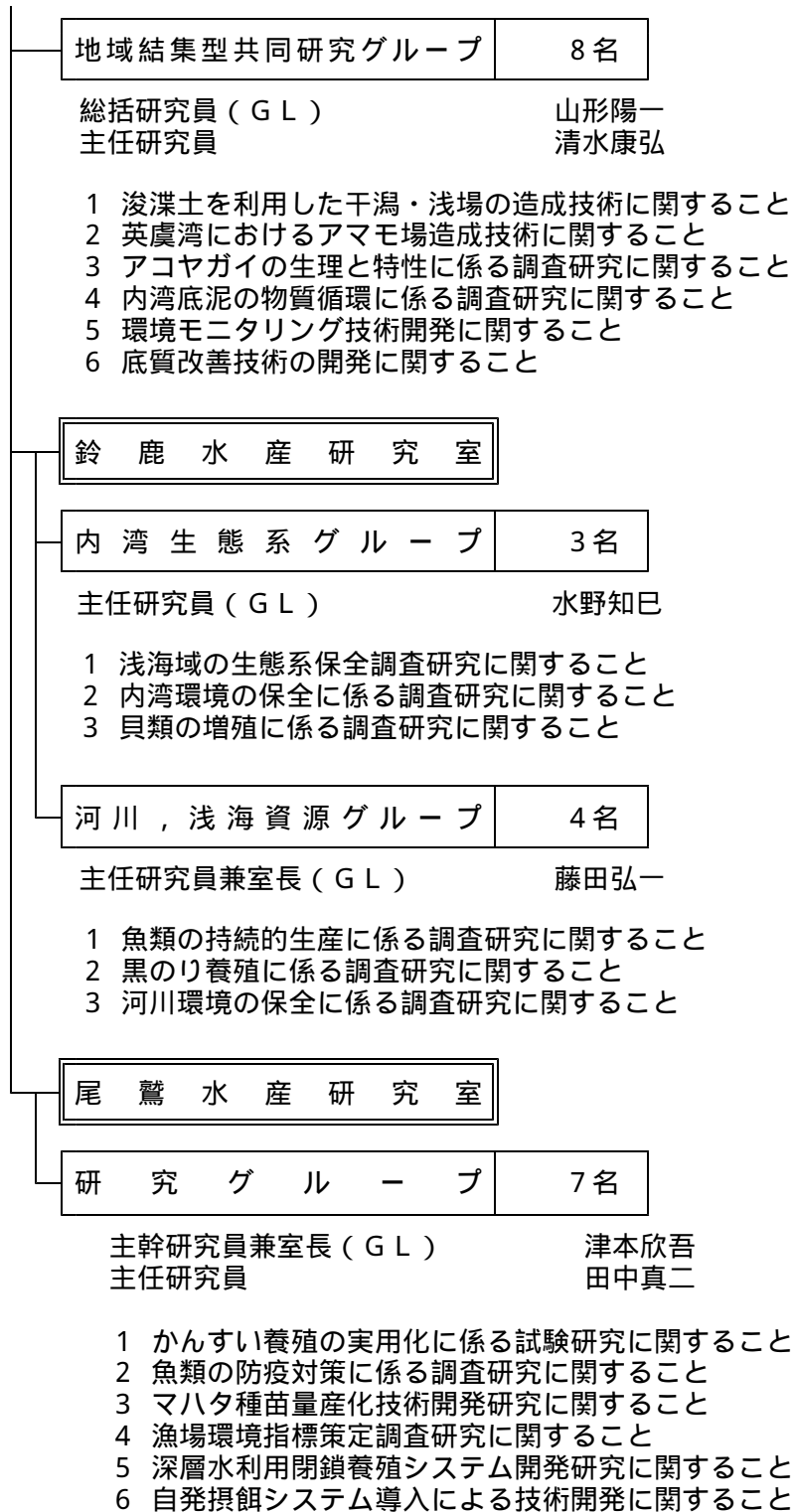
総括研究員兼研究企画監 (GL)	中島博司
主幹研究員	山田浩且
主任研究員	久野正博

- 1 漁海況予報技術の開発に関する事
- 2 資源管理型漁業 (TAC対象種) に係る調査研究に関する事
- 3 資源増大技術開発に係る調査研究に関する事
- 4 資源管理型漁業 (沿岸資源, TAE対象種) に係る調査研究に関する事
- 5 資源管理型漁業 (高度回遊性魚種資源) に係る調査研究に関する事

水 圏 環 境 グ ル ー プ	4名
-----------------	----

総括研究員 (GL)	西村昭史
------------	------

- 1 環境・生態系保全調査研究に関する事
- 2 内湾漁場環境の調査研究に関する事
- 3 有害赤潮 (ヘテロカプサ等) の調査研究に関する事
- 4 有害プランクトン (貝毒) の調査研究に関する事
- 5 下痢性貝毒発生予察技術開発に関する事
- 6 内湾性藻場造成技術開発研究に関する事



事 業 名	予 算 額 (千円)
資源動向要因分析調査委託事業費 (資源開発管理 G、企画調整 G H16 ~)	2,000
水産基盤整備事業調整費 (鈴鹿水産研究室 H16 ~ 17)	1,500
伊勢湾底魚資源の回復に関する研究費 (鈴鹿水産研究室、資源開発管理 G H15 ~ 17)	506
魚類養殖試験費 (尾鷲水産研究室 H15 ~ 17)	1,267
深層水利用閉鎖養殖システム開発研究費 (尾鷲水産研究室H13 ~ 17)	1,112
自発摂餌システムを用いた養殖魚の飼育技術開発費 (尾鷲水産研究室H16 ~ 18)	2,863
(4)環境保全に向けた技術開発	<u>5,697</u>
英虞湾漁場環境基礎調査費 (水圏環境 G H15 ~ 19)	2,018
ヘテロカプサ赤潮の消長予測技術開発費 (水圏環境 G H16 ~ 20)	1,677
生物多様性に配慮したアマモ場造成技術開発調査事業費 (地域結集型共同研究 G、鈴鹿水産研究室 H16 ~ 18)	1,000
淡水魚類の多様性保全に関する研究費 (鈴鹿水産研究室 H15 ~ 19)	1,002
(5)循環型社会実現への貢献のための技術開発	<u>1,000</u>
農林水産バイオリサイクル研究費 (地域結集型共同研究 G H15 ~ 19)	1,000

参考：農水商工部等からの試験研究業務

事業名	予算額 (千円)
農水商工部水産室予算	9,811
(1)高品質アコヤ貝育成強化事業費 (水産資源育成 G H15～19)	2,944
(2)産地市場自主衛生管理型漁業推進事業費 (水産資源育成 G、水圏環境 G H16～18)	1,611
(3)消費者に安心される養殖水産物の生産体制整備事業費 (水産資源育成 G、尾鷲水産研究室、鈴鹿水産研究室 H16～18)	616
(4)持続的養殖生産確保法コイヘルペスウイルス病まん延防止事業 (水産資源育成 G、尾鷲水産研究室、鈴鹿水産研究室 H17)	386
(5)底曳き網漁業資源回復計画普及推進事業費 (資源開発管理 G H17～19)	1,002
(6)漁場環境保全推進調査事業費 貝毒成分等モニタリング事業費 (水圏環境 G、鈴鹿水産研究室、尾鷲水産研究室 H7～)	222
漁場保全対策推進事業費 (水圏環境 G)	93
魚類養殖漁場環境調査費 (尾鷲水産研究室 H15～19)	620
(7)イカナゴ資源回復作成推進事業費 (鈴鹿水産研究室、H15～19)	967
(8)黒のり養殖漁場環境調査 (鈴鹿水産研究室)	276
(9)山・川・海の絆再生による「みえのうみ」魅力創出事業(アサリ資源自主管理促進事業) (鈴鹿水産研究室 H17～19)	574
(10)マハタ養殖マニュアル作成 (尾鷲水産研究室 H16～19)	500
環境森林部水質改善室予算	6,750
(1)勢田川浄化に関する生物調査費 (鈴鹿水産研究室 H15～18)	6,750
科学技術振興センター予算	
(1)共同研究事業費(全体予算額) 閉鎖性海域の環境創生プロジェクト研究事業費 (地域結集型共同研究 G H15～19)	22,853
未利用海藻活用共同研究事業費 (鈴鹿水産研究室 H17～19)	3,360
(2)特定プロジェクト外研究費(全体予算額) ホテル厨芥等の養殖魚飼料利用技術に関する研究費 (尾鷲水産研究室 H15～17)	2,400
建設廃材リサイクル技術研究開発事業費 (水産資源育成 G H13～17)	4,241
(3)研究施設機器整備費(水産研究部の予算額) 施設整備費	4,340
機器整備費	2,277

事業概要

事業名	予算額	事業概要																																				
<p>水産研究部予算</p> <p>1 水産研究部管理費</p>	<p>(千円)</p> <p>50,262</p>	<p>水産研究部の維持管理費，調査船の中間検査費等。(県単)</p> <p>【調査船】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">船名</th> <th style="text-align: center;">項目 船質</th> <th style="text-align: center;">トン数</th> <th style="text-align: center;">馬力数</th> <th style="text-align: center;">進水年月</th> <th style="text-align: center;">用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">あさま</td> <td style="text-align: center;">軽合金</td> <td style="text-align: center;">79.0</td> <td style="text-align: center;">D 400</td> <td style="text-align: center;">H14.3</td> <td style="text-align: center;">調査研究</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">小大勢</td> <td style="text-align: center;">F.R.P</td> <td style="text-align: center;">1.1</td> <td style="text-align: center;">D 42</td> <td style="text-align: center;">H4.8</td> <td style="text-align: center;">あさま通船 雑作業</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">まつかぜ</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">1.3</td> <td style="text-align: center;">外 30</td> <td style="text-align: center;">H11.3</td> <td style="text-align: center;">養殖作業 湾内観測</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">れいすい</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">2.6</td> <td style="text-align: center;">D 40</td> <td style="text-align: center;">S62.7</td> <td style="text-align: center;">沿岸観測</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">灘風</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> <td style="text-align: center;">D 35</td> <td style="text-align: center;">H14.3</td> <td style="text-align: center;">湾内観測 養殖作業</td> </tr> </tbody> </table>	船名	項目 船質	トン数	馬力数	進水年月	用途	あさま	軽合金	79.0	D 400	H14.3	調査研究	小大勢	F.R.P	1.1	D 42	H4.8	あさま通船 雑作業	まつかぜ	"	1.3	外 30	H11.3	養殖作業 湾内観測	れいすい	"	2.6	D 40	S62.7	沿岸観測	灘風	"	1.5	D 35	H14.3	湾内観測 養殖作業
船名	項目 船質	トン数	馬力数	進水年月	用途																																	
あさま	軽合金	79.0	D 400	H14.3	調査研究																																	
小大勢	F.R.P	1.1	D 42	H4.8	あさま通船 雑作業																																	
まつかぜ	"	1.3	外 30	H11.3	養殖作業 湾内観測																																	
れいすい	"	2.6	D 40	S62.7	沿岸観測																																	
灘風	"	1.5	D 35	H14.3	湾内観測 養殖作業																																	
<p>2 試験研究費</p> <p>(1)産地間競争力を高める技術開発</p> <p>アコヤガイ凍結保存法による新養殖システム開発費</p>	<p>3,441</p>	<p>飼育による優良母貝の系統保存は，多大な労力を要しコストがかかるうえ，赤潮等で全滅する恐れがあるため，効率的かつ安全に系統を保存するためのアコヤガイの凍結保存技術を開発する。 (三重大学委託)</p>																																				
<p>日本のアコヤ貝と交雑アコヤ貝の真珠品質の比較研究</p>	<p>700</p>	<p>病気対策として広まった交雑貝から生産される真珠の品質が日本アコヤ貝に比べて劣るといわれている。そこで，両方の真珠を加工処理して真珠品質を比較し，これからの真珠養殖に使用する母貝のあり方を検討するうえでの資料とする。 (県単)</p>																																				
<p>黒のり優良品種開発に関する研究費</p>	<p>1,568</p>	<p>黒のりの採苗技術の改良と細胞レベルの選抜による優良品種の開発により，黒のりの養殖にかかる作業の効率化を図るとともに，病傷害による品質と生産量の低下を軽減する。 (県単)</p>																																				
<p>「三重のマハタ」高品質・早期安定種苗生産技術開発事業費(重点プログラム)</p>	<p>11,772</p>	<p>「三重のマハタ」を真の県の特産品とするために，種苗量産の安定化と高品質な(病気に強い，形がよい)種苗を生産するための技術開発を行う。 (1)生残率向上試験 (2)形態異常魚対策試験 (3)ウイルス性疾病(VNN)対策試験 (県単)</p>																																				

事業名	予算額	事業概要
(2)安全・安心を確保するための技術開発 下痢性貝毒による食中毒の未然発生防止のための予察技術開発費 (重点プログラム)	(千円) 2,764	人に下痢や嘔吐などを症状とする食中毒を引き起こす下痢性貝毒の発生予察技術を開発する。 (1)プランクトン毒素量のモニタリング技術開発 (2)プランクトン毒素量と二枚貝毒化との関係解明(県単)
(3)持続性,安定性,効率性を高めるための技術開発 イセエビ種苗大量生産技術開発費	4,586	本県沿岸漁業の重要種であるイセエビの増殖技術の確立を目的として,イセエビ幼生を安定して大量に飼育する技術の開発を行う。 (1)中後期幼生の大量飼育システムの開発 (2)幼生の疾病防止技術の開発 (交付金)
イセエビ幼生の好適餌料の開発	5,500	イセエビ種苗生産における主要な生物餌料である,アルテミアの養成方法を検討するとともにイセエビ幼生への効率的な給餌条件を明らかにする。(水研センター委託)
アワビ類の生産に影響を及ぼす環境要因に関する研究費	2,362	アワビ類の資源変動機構,減少原因を明らかとし,有効な対応策を検討する。 (1)沿岸岩礁域の水質などの環境調査 (2)海藻類相の経年調査とアラメ類の生産量調査 (3)アワビ類の加入および生残状況の調査 (県単)
トラフグ資源増大技術開発事業費	1,440	トラフグ種苗放流による資源の増大技術開発を行う。 (1)愛知,静岡,(独)水産総合研究センターとの共同放流調査 (2)サイズ別放流試験 (3)市場調査による放流魚の再捕率の把握 (交付金)
IT活用型海洋構造調査事業費	1,399	熊野灘沿岸域における黒潮流路の変化と黒潮暖水波及との関連について,その変動機構の解明と海況予測の精度向上を図る。 (1)水深別流向流速データの収集 (2)人工衛星情報の解析 (3)海況構造の迅速な把握 (県単)
関東・東海海域における沿岸海況の短期予報研究	5,500	衛星リモートセンシング水温同化技術の開発と海況情報ネットワークシステムの構築,黒潮及び周辺海域の変動特性の解明並びに沿岸海況予報システムの開発により,高精度な海況図の作成,沿岸・沖合海況変動機構の解明,急潮予報システムの開発を行う。

事業名	予算額	事業概要
資源評価調査事業費	(千円) 16,465	イワシ類・アジ・サバ類・ブリ・マダイ・ヒラメ・スルメイカ・トラフグ・マアナゴ・シャコ等の資源量の評価を行い、漁獲可能量（漁獲割当量）を算出するための基礎資料を収集する。 （１）生物情報収集調査、 （２）標本船調査、 （３）漁場一斉調査（モジャコ） （４）沖合海洋観測等調査、 （５）新規加入量調査、 （６）魚種別系群判別会議（水研センター委託）
資源管理に必要な情報の提供事業費	1,314	本県沿岸の漁況及び海況を定期的に調査して、その情報を関係機関に広報し、資源管理の推進を図る （１）漁海況情報の収集 （２）漁海況情報の解析 （３）漁海況情報の提供（交付金）
日本周辺高度回遊性魚類資源調査事業費	1,545	マグロ類やカツオなどの高度回遊性魚類について、国際的な資源管理体制の確立が必要となっている。そのため、国を中心とした全国組織のもとに、本県では県立水産高校と連携して、漁獲データや生物調査結果等の収集・解析を行う。 （水研センター委託）
資源動向要因分析調査委託事業費	2,000	マイワシ、サバ類などの水産重要種の稚仔魚期および加入後の生残に及ぼすカツオ類の食害の影響を評価する。 （水研センター委託）
水産基盤整備事業調査費	1,500	海底耕耘を行った浅海域漁場と隣接する非改良漁場において、底質の差異及びそれに連動するアサリ稚貝の分布、生残成長状況を調査し、海底耕耘の効果を評価するとともに、稚貝の生残、成長が確保される漁場条件を見いだす。（交付金）
伊勢湾底魚資源の回復に関する研究費	506	伊勢湾沿岸の漁業を支える重要底魚資源、特に近年減少が著しいマアナゴ、シャコを対象に、湾内における生活史とそ の中で見られる生態的特性を把握するとともに、それらを踏 まえた適正な資源管理手法を検討する。 （１）マアナゴの初期生態調査 （２）シャコの初期生態調査 （３）生息環境調査 （４）小型底曳き網による漁獲実態調査（県単）
魚類養殖試験費	1,267	魚類養殖業の経営安定化を図るため、次の試験を行う。 （１）マダイのエドワジェラ症対策試験（県単）
深層水利用閉鎖養殖システム開発研究事業費	1,112	クエを対象魚種として循環濾過による養殖システムを開発し、深層水利用について技術的な検討を行う。（県単）

事業名	予算額	事業概要
自発摂餌システムを用いた養殖魚の飼育技術開発費	(千円) 2,863	自発摂餌システムは魚の摂餌要求に合わせた給餌が可能であり、効率の良い残餌の少ない給餌ができると考えられることから、海面設置型自発摂餌給餌機の開発と、それを用いた飼育試験を実施し、自発摂餌システム実用化をめざした研究開発を行う。 (県単)

事業名	予算額	事業概要
(4)環境保全に向けた技術開	(千円)	
英虞湾漁場環境基礎調査費	2,018	英虞湾の水底質環境ならびに餌料プランクトンや赤潮プランクトンの消長等を調査し、英虞湾プランクトン速報として関係機関に情報提供するとともに、漁場環境の長期変動を捉える。 (県単)
ヘテロカブサ赤潮の消長予測技術開発費	1,677	真珠養殖業に多大な被害を与えるヘテロカブサについて、プランクトンの増殖活性を指標とした短期的な赤潮消長予測の可能性を検討する。 (交付金)
生物多様性に配慮したアマモ場造成技術開発調査事業費	1,000	現在の生態系や漁業活動への影響等に配慮し、安全にアマモ場を造成する方法を確立するため、県内のアマモ類分布の把握を行い、採取したアマモ草体の遺伝子レベルでの類似・相違度を明らかにするため水産庁へサンプル供与を行う。 (交付金)
淡水魚類の多様性保全に関する研究費	1,002	県内主要河川における淡水魚類の分布実態を把握するとともに、改修された河川の魚類相復元の可能性やブラックバスなどの外来魚が生態系に与える影響を明らかにし、多様な淡水魚類相の保全手法を見出す。 (1) 淡水魚類分布調査 (2) 淡水魚類相の復元に関する研究 (3) 外来魚が生態系に与える影響に関する研究 (県単)
(5)循環型社会実現への貢献のための技術開発 農林水産バイオリサイクル研究費	1,000	真珠養殖において廃棄処分されるアコヤガイ軟体部の有効利用を図るため、化粧品等の原材料に用いられるセラミドを抽出した後の残渣を飼料化するための検討を行う。 (交付金)

事業名	予算額	事業概要
農水商工部水産室予算	(千円)	
(1)高品質アコヤ貝育成強化事業費	2,944	高品質なアコヤ貝の育成および赤変化を伴う感染症対策に関する試験を行う。 (1)耐病性評価方法の検討 (2)国内地方系統の貝の養殖特性調査 (3)耐病性貝試作品の評価・生産 (4)真珠生産試験 (5)養殖技術の改善に関する試験 (交付金)
(2)産地市場自主衛生管理型漁業推進事業費	1,611	水産物の食の安全・安心確保のため船上から荷捌き出荷までの衛生管理体制を確立する。 (1)水産物の漁獲から市場での出荷までの細菌現状調査 (2)産地市場における衛生管理型施設の有効性調査(県単)
(3)消費者に安心される養殖水産物の生産体制整備事業費	616	医薬品及びワクチンの適正使用について指導するとともに、養殖衛生管理技術の普及、啓発を行う。また、疾病の監視及び発生時の対策を実施する。(交付金)
(4)持続的養殖生産確保法コイヘルペスウイルス病まん延防止事業	386	県内におけるコイヘルペスウイルス病のまん延防止措置のため、ウイルス病検査体制の整備・充実を図る。(交付金)
(5)底曳き網漁業資源回復計画普及推進事業費のうち資源回復実践調査	1,002	近年減少しつつある底曳き網漁業対象資源(マアナゴ等)について資源回復に向けて取り組むうえで必要とされる基礎的知見を収集する。(交付金)
(6)漁場環境保全推進事業費		
貝毒成分等モニタリング事業費	222	二枚貝の毒化状況と貝毒プランクトンの出現量をモニタリングし、出荷自主規制等の措置を講ずることで、貝毒被害を防止する。(交付金)
漁場保全対策推進事業費	93	沿岸の漁場環境を保全するため、漁場の監視、被害発生時の情報連絡等漁場監視体制を整備し、公害等による漁場被害の未然防止又は軽減を図るとともに、生物モニタリング調査を実施することにより、海域の富栄養化等長期的な変動についても把握に努める。(交付金)
魚類養殖漁場環境調査費	620	三重県下の代表的な魚類養殖漁場である尾鷲湾において漁場環境を把握し、漁業者自身が簡便に調査できる漁場環境指標を検討する。(交付金)
(7)イカナゴ資源回復計画作成推進事業費のうちイカナゴ資源状況調査	967	イカナゴ資源について資源管理型漁業を推進していくうえで必要とされる科学的データを収集し、資源状況を正確に把握する。(交付金)
(8)黒のり養殖漁場環境調査	276	のり養殖漁場における栄養塩など、養殖に必要な情報提供を行うとともに、病害対策などの養殖指導を行う。(交付金)
(9)山・川・海の絆再生による「みえのうみ」魅力創出事業(アサリ資源自主管理促進事業)	574	水産資源として有用であるとともに、伊勢湾内の自然浄化の担い手として重要なアサリ資源について、漁業者が主体となって調査を行い資源管理を継続できるよう、モデル漁場を選定し資源管理マニュアルを作成する。(県単)
(10)マハタ養殖マニュアル	500	マハタの飼育管理技術を確立するために、マハタの生理に関する試験を実施し、養殖マニュアルを作成する。(交付金)

事業名	予算額	事業概要
環境森林部水質改善室 予算 (1) 勢田川浄化に関する 生物調査費	6,750	勢田川河口干潟において、二枚貝（アサリ）を活用した水質浄化機能の向上手法を検討する。 (1) 干潟周辺環境調査 (2) アサリ天然資源動向調査 (3) 小規模放流試験 (県単)
科学技術振興センター予算 (1) 共同研究事業費 閉鎖性海域の環境創生プロジェクト研究事業費	全体 22,853 水産研究部 20,575	英虞湾の環境改善と新技術の創造を目的とした科学技術振興事業団の地域結集型共同研究事業「閉鎖性海域における環境創生プロジェクト事業」に参画し、英虞湾の自然浄化機能の向上と底質改善ならびに水質予報システムの構築に係る研究に産学官共同で取り組む。 (1) 浚渫土を利用した干潟・浅場の設計造成技術の開発 (2) 細胞培養を利用したアマモ種苗量産と藻場造成技術の開発 (3) 底質改良技術の開発 (4) シミュレーションモデル開発のための海域環境調査(流動観測, 栄養塩等調査) (5) 生態系モデルでの底質における物質循環モデルの開発 (6) 養殖適正量評価のためのアコヤガイ成長モデルの開発 (7) その他委託事業 (県単)
未利用海藻活用 共同研究事業費	全体 3,360 水産研究部 1,397	アナアオサ、アマモ、スサビノリ等の未利用海藻の有効利用を促進するため、これら海藻の前処理（収穫、乾燥等）技術、単細胞化技術、餌料化技術等の開発を行うとともに、海藻抽出成分投与によるマハタに対するウイルス感染症予防効果を確認する。 (県単)
(2) 特定プロジェクト研究費 ホテル厨芥等の 養殖漁業用飼料化による地域内循環システムに関する研究費	全体 2,400 水産研究部 1,300	伊勢志摩地域をモデル地区として、ホテル厨芥等（魚介類残さ）の魚類養殖用飼料化とこれを用いた生産魚の地域内消費による循環システムを確立するため、厨芥物混合飼料を用いたマダイ飼育試験を行い、その利用性を検討する。 (県単)
建設廃材リサイクル技術研究開発事業費	全体 4,241 水産研究部 100	工業研究部が実施するコンクリート廃材を用いて作成した魚礁の設置後の効果調査等を行う。 (県単)
(3) 研究施設機器整備費	水産研究部	
施設整備費	4,340 水産研究部	施設の整備，工事。 (県単)
機器整備費	2,277	備品の更新，整備。 (県単)